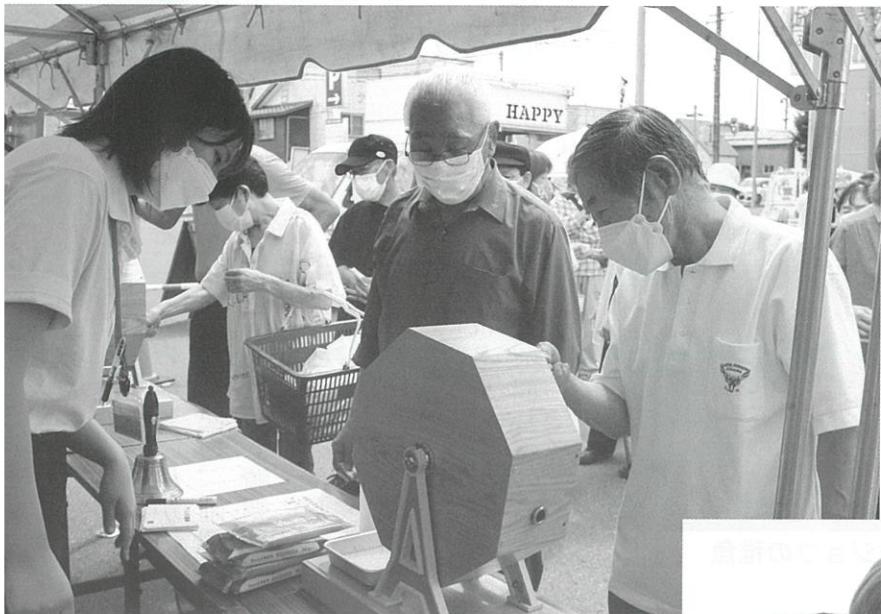




みのぶ

9月号



ビッグサマーセール抽選会、農産物直売会
(8月14日／JA生活店舗駐車場)

■発行日/令和4年9月1日/No.1445号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

「土生米」の圃場 今年も稚魚確認



圃場に仕掛けた網の中から稚魚を取り出す横田職員

8月3日、YES! Cleanのブランド米「土生米」の圃場で今年もドジョウの稚魚を確認しました。「米づくりを考える会」は、環境保全の証としてドジョウがすむ圃場から生産する「ふつくりんこ」の「土生米」のブランド化に取り組んでいます。農薬の使用回数は慣行の22回から半分以下に減らし、化学肥料の使用回数も減らしています。

今年は10~15センチほどの成魚を6月下旬、同会が決めた規定量の10kg当たり300gを圃場に放流。

土生米は2012年から栽培を始め、13年から販売をスタート。今年の作付けは8戸で約32ha。昨年より2・5ha増加した面積で栽培に取り組んでいます。

今年の作付けは8戸で約32ha。昨年より2・5ha増加した面積で栽培に取り組んでいます。

8月3日、JAの担当職員が決まった間隔で仕掛けを使い、確認調査を行っています。今年も順調に繁殖が進んでいることがわかりました。

土生米は2012年から栽培を始め、13年から販売をスタート。今年の作付けは8戸で約32ha。昨年より2・5ha増加した面積で栽培に取り組んでいます。

前田さんは「甘みが強くみずみずしい仕上がりになっている。採れたての新鮮なトウモロコシをぜひ食べてほしい」と話していました。



圃場で捕まえたドジョウの稚魚

トウモロコシ出番

8月5日からトウモロコシの出荷が始まりました。

岩見沢市岡山町でトウモロコシ



採れたてのトウモロコシを出荷する前田さん

同会の今年の作付面積は150haで、記録的な猛暑と干ばつの影響を受けた昨年に比べると、質・量ともに順調に生育していて、収穫量は昨年より15,000本多い、33,000本の出荷を目指しています。8月中旬に最盛期を迎え、1日約2,000本を出荷しました。

前田さんは「甘みが強くみずみずしい仕上がりになっている。採れたての新鮮なトウモロコシをぜひ食べてほしい」と話していました。

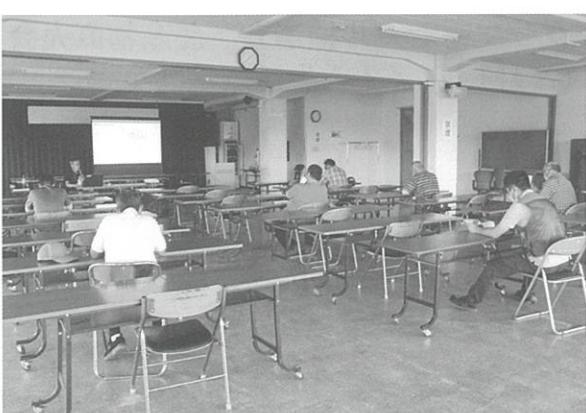
A 営農販売課は次年度の安定生産と品質向上に向けて、小麦の播種前講習会を開き、8人の生産者が参加しました。

講師に空知農業改良普及センターの布目地域第2係長と高橋専門

普及指導員を招き、今年の生育状況や、生育状況に応じた追肥タイミング・追肥量、播種前の圃場準備の仕方・排水対策などについて説明しました。

肥料価格の高騰を受けて、大豆間作栽培についての推進も行いました。

小麦播種前講習会 安定生産目指す



小麦播種前講習会の様子

白い恋人パークで

峰延の農産物PR

8月21日、札幌市で行われた「白い恋人deマルシェ」で当JAの農産物の販売を空知産直センターさんと合同で行いました。



白い恋人パークでの対面販売の様子

前に特設テントを設置し、野菜や米、酒を販売。当JAの他にも、アクセサリーなどのハンドメイド雑貨や野菜の販売などが行われました。

当日は晴天に恵まれ、パークの外も多くの人で賑わっていて「峰延はどこにあるの？」と声をかけられる場面や「お酒はどんな味がするの？」と聞くお客様もあり、

消費者と直接交流しながら当JAのPRを行いました。

美唄市長が小麦集出荷

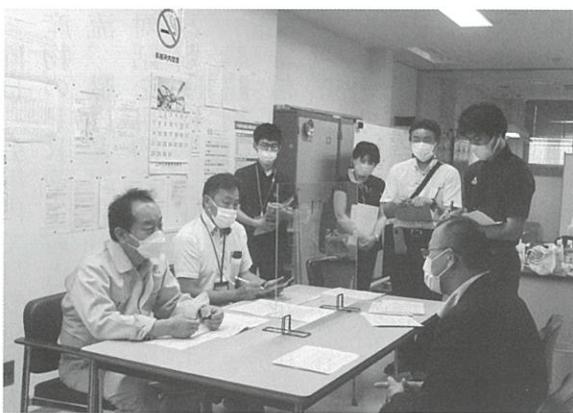
調製施設を視察来訪

8月9日、板東美唄市長が峰樺3区にある美唄市小麦集出荷調製

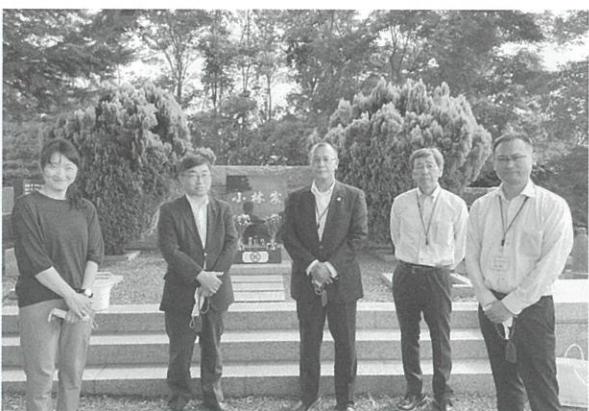
施設と、峰延地区収穫機械施設利用組合を小麦出荷状況の視察に訪れました。

同日、板東市長一行は、美唄市内にある8ヶ所の小麦調製施設の視察を行いました。小麦の刈り取り・出荷状況や品質等を伊藤組合長、安西営農販売課長が説明しました。

板東市長は「本年の天候不順により、細麦傾向と聞いています。生



板東美唄市長と懇談する伊藤組合長



墓参りした皆さん

小林篤一翁の墓参に訪れる

8月10日、北海道報徳社の一行

が三笠市峰延墓地にある小林篤一翁の墓参りに訪れ当JA常勤理事らが同行しました。

北海道報徳社の石田常務理事、佐藤職員が墓参りに訪れ、伊藤組合長、高田専務理事、当JA職員と共に墓の周囲を清掃し墓石を洗つた後、花を供え線香を手向けま

産者の努力が実るよう、美唄市としても支援していきたい。ふるさと納税による米の返礼品が好調なので、基金を活用し、農業が発展する仕組みを整えたい」と述べていました。

した。

北海道報徳社では毎年、小林篤一翁の墓参りに訪れていて近年は

当JA常勤理事も同行し一緒に墓参りを行っています。

令和3年度

食料自給率38%で微増

農林水産省は8月5日、令和3

年度（2021年度）の食料自給率がカロリーベースで38%だったと公表しました。小麦、大豆が作

付面積、単収ともに増加したこと、

米における外食需要の回復等により、37%と過去最低だった前年度から1ポイント上向きました。一方、30年度に45%とする政府目標との差は依然大きいままとなっています。同省は、麦・大豆などの国産化に引き続き注力する考えを強調。「個々の施策を改善しながら達成を目指していく」（大臣官房）と述べています。

1965年度の統計開始時はカロリーベースで73%。長期的に低下傾向で、近年は40%を下回って推移しています。

食料安全保障の確立が課題となる中、達成に向けた対策が求められています。

生活店舗で サマー・セール抽選会

生活店舗は、7月1日から8月8日の期間にビッグサマー・セールと称した豪華賞品のある抽選会に参加できる特典付きのセールを行いました。

8月14日、生活店舗横駐車場で、ビッグサマー・セール抽選会を開催。1等当選者には史上最高額の10万円分の旅行券が手渡されました。2等の景品は美唄ゆりん館のペア宿泊券で、当選された方は「いつもお世話になつていてる祖父母にプレゼントしたい」と話していました。

農産物直売会では、タマネギの詰め放題や新鮮な朝取り野菜などを販売。1本50円で300本用意したトウモロコシは開始15分で完売するなど大盛況となりました。

牛乳の消費拡大を目的に、来場者先着200人限定で牛乳を無料配布。牛乳と酪農に対する理解を深めてもらうチラシを配布し、牛乳の消費拡大について協力を呼びかけました。



当選の命運をにぎる高田専務の抽選



2等の賞品を手渡す伊藤組合長



牛乳の消費拡大を呼び掛けました



お子様向けのガラポンくじコーナーも！



生産者自らが新鮮で安心・安全な農産物を販売



販売開始前から行列できだいにぎわい

2年ぶりの研修で女性部交流

7月13日、フレッシュユミズの会は千歳市で夏期研修を行い女性部員3人が参加しました。



ソーセージ作りを体験する女性部員

「北海道箱根牧場」でソーセージや生キヤラメル作り、牛の乳しぼりを体験しました。ソーセージ作りでは、専用の容器に羊の腸の先を広げて取り付ける作業に苦戦していましたが、それぞれ好きな長さ・太さにし、お土産として持ち帰りました。

研修後、昼食をとりながら農業の進捗状況や今後の活動の仕方について話し合いました。参加者が新人賞を受賞しました。

この表彰は道内の日本農業新聞通信員の育成強化を図ることを目的に行われ今年で16年目になります。表彰は、最優秀通信員賞・優秀通信員賞・努力賞・新人賞の各賞を設け、JA北海道中央会と日本農業新聞北海道支所が選考して

からは、秋に行われる予定の反省慰労会についても期待の声が上がっていました。

日本農業新聞通信員表彰 新人賞を受賞



表彰を受けた通信員の皆さん

香りの畦みちハーブ米を購入された消費者から、応援メッセージが届きました

私はトドックを利用してJAみねのぶさんのお米を購入している者です。トドックのお米の定期お届け便を利用しようとチラシを見ていて「農薬節減米」を知りました。私は今まで無農薬とか節減とか聞くと本当に信用できるのかなと不安に思っていました。でも、あぜ道にハーブを植えて環境作りに取り組む姿勢にも共感できたのでこのお米を選びました。

米の食料自給率が高い北海道に暮らすことに感謝し、今日も安心して食べられるお米を美味しく味わっていることを幸せに思います。自然を相手にするお仕事ですから、毎年自然災害など予期できないこともあると思います。今年は猛暑ですが、その中でも大切にお米を育てておられる皆さんの努力に感謝します。皆さんに信頼を寄せる消費者の1人として陰ながら応援しています。

札幌市在住

います。

表彰を受けた通信員は次の通りです。最優秀賞＝田中千草（JAびばい）▽優秀賞＝川原拓也（JAとまこまい広域）▽努力賞＝高橋洸太（JAようつい）、河西陽平（JA中標津）▽新人賞＝宮本

アカリ（JAみねのぶ）
農業新聞への送稿・広報誌の発行に伴い、取材にご協力いただきありがとうございます。これからも、たくさん取材させてください！」（総務課 宮本）

尊徳翁は次のように話された。経済には、広く全国、天下にわたる経済があり、一藩、一国の経済もあり、一家の経済もある。しかし、その内容はそれぞれ異なるものであり、同一には論じられない。何故ならば、ばくちを打つのも、娼妓屋を営むのも、一家、一身上に於いては皆経済と思っているかも知れないが、まつりごとが、これを禁止していく、みだりに許可しないのは、人々にとつて害があると考えるからである。この様なことは、経済と言つてはならない。それは、自己の利益だけを見ていって、他の人のためを省みないばかりか、後世にも害を残すだけであるからである。

(夜一七六)

報徳

一家の経済と天下の経済



諸藩でも、宿駅に娼妓屋を許可しているが、藩中及び領内の者はここで遊ぶのを厳禁していることが多い。そのようにしなければ、大切な藩と、その領内の風紀に害を及ぼすからである。それはそれで、一藩の経済である。米沢藩では、少しでも凶作の年には、酒造量を半分に減らさせ、大凶作になるとすれば、酒造は厳禁にして行わせず、その上、他の藩などからの流入も許さないようだ。大豆も不作であれば、豆腐作りも禁止されると聞く。これは、自藩内の資金を他に出さないという政策であり、これも一藩の経済である。

しかし、広く全国、天下にわたる経済は、このように一藩だけの利害を目的としたものでなく、公明正大なものでなければならない。

最終日に常勤理事、幹部職員に対して今回の監査結果について講評が行われました。総評では「組合員等利用者をはじめ、地域住民の皆さまのニーズに沿った事業活動を開拓するには、役職員が心身ともに健康であることが必要。健康管理に十分配慮して業務に取り組むように」と述べられました。

8月25日開催の第7回定例理事会において、次の付議事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 諸規定の一部変更について

第2四半期監事監査終わる

8月23日から25日までの3日間、本年7月末を基準日とする第2四半期監事監査が佐藤代表監事以下3名の監事によつて行われました。

第2四半期における地域農業振興計画及び中期経営計画の取組状況や基本方針に掲げた取組事項の進捗、予算執行状況及び期末見通しなどについて精力的に監査を行いました。

市役所からのお知らせ

農業活性化対策事業(暗きよ事業)の希望者を募集しています

岩見沢市では振興作物の安定的な生産を目的とした暗きよ整備に係る補助を行っています。募集は、随時実施しておりますが、令和5年3月31日までに施行完了とするものとします。(事前着工不可)詳細につきましては当市窓口または電話にてお問い合わせください。

○補助額 施工費の1/2以内。但し、上限額は無材暗きよ30万円・浅層暗きよ15万円とする。

○お問い合わせ先 岩見沢市役所 本庁舎2階 27番窓口 農務課農業経営係

(電話:0126-35-4467) 〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

第7回(8月)定例理事会の開催について

当JAの業務紹介**vol.3**前月に引き続き、当JAの業務内容を
部署毎に紹介します。**営農販売課**

営農販売課では、生産者が栽培した米、麦、大豆等の農産物の集荷、販売、保管及び精算業務を行っています。また、生産者が収穫した米、麦、大豆を集出荷調製施設で製品として調製作業を行い、倉庫で保管、入出庫を行っています。

収穫までの期間は、圃場巡回を行い生育状況の確認、肥料や農薬の使用方法、作物の栽培方法について情報提供をするなど組合員の営農支援を行っています。

JAみねのぶブランドとしての宣伝活動も行い、有利販売に努め、生産者の所得向上に繋げるべく業務を行っています。

**営農販売課(青果・精米)**

営農販売課(青果・精米)では、野菜や白米などを小売店や直接販売により出し、生産者が丹精込めて育てた農産物を多くの消費者にお届けする“つなぐ”業務を行っています。

販路拡大に努めるとともに、販促フェアを行い、みねのぶ農産物の認知度を高めお客様の購買意欲を引き出す取り組みを行っています。消費者と密接に関わりながら、食味向上と安定供給に繋がる取り組みを行っています。

**営農販売課(精米施設・利用精米所)**

営農販売課(精米施設)では、小売店に卸す白米を作っています。

営農販売課(利用精米所)では、組合員が飯米用に持ち込む玄米を白米にしています。



JAバンク

いつでも、どこでも
手軽で便利だぞう。

**JAバンクアプリ**

アプリをダウンロードして簡単登録! いつでもすばやく口座残高のチェックや明細の照会ができるサービスです。

残高照会 **入出金明細照会** **投信残高照会**
定期預入明細照会

アプリのサービス画面から、
JAネットバンクにアクセスできます。



振込・払込 **定期貯金** **ローン線上返済**
カードローン **マネーフォワード for JAバンク**
(家計簿アプリ)

●「投信残高照会」「定期貯金」「ローン線上返済」「カードローン」は、JAによってお取扱いできない場合や、一部機能に制限を設けている場合、対象商品・案件が異なる場合があります。

●「マネーフォワード for JA バンク (家計簿アプリ)」は、株式会社マネーフォワードが運営しています。JA バンクの運営ではありません。お問い合わせは、株式会社マネーフォワードまでご連絡ください。

窓口手数料の新設について

日頃よりJAバンクをご利用いただき、誠にありがとうございます。

令和4年10月より「大量硬貨入金手数料」および「金種指定支払手数料」を下記の通り新設させていただくことになりました。

今後もより一層のサービス向上に努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

取扱開始日 令和4年10月3日（月）

◆大量硬貨入金手数料（消費税込）

硬貨入金枚数	手数料金額
1枚～100枚	無料
101枚～1,000枚	330円
1,001枚～2,000枚	550円
2,001枚以上	1,000枚毎に220円加算

- 同時に複数回に分けて入金される場合は、合計した枚数を入金枚数とさせていただきます。
- 硬貨計数後の入金取り止めや、入金額を変更する場合でも、計数枚数に応じた手数料が必要となります。
- お越しの際は事前連絡および金種を分けて持込みいただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

◆金種指定支払手数料（消費税込）

指定支払枚数	手数料金額
1枚～20枚	無料
21枚～100枚	110円
101枚～1,000枚	330円
1,001枚～2,000枚	550円
2,001枚以上	1,000枚毎に220円加算

- 金種指定した払戻が手数料の対象となります。
- 同時に複数回に分けて払戻される場合は、合計した枚数を支払枚数とさせていただきます。
- 1回の払戻で、一部を金種指定した場合、金種指定していない残額についても支払枚数に含みます。

お問合せ先

JAみねのぶ 金融課（貯金係）
☎ (0126) 67-2114